

目次 ◆ 診療科紹介(形成外科) ◆ 医師のご紹介
◆ 各科外来診療担当表

形成外科紹介

形成外科医長 藤山 浩

形成外科は主に顔面や体の表面に生じた、病気や外傷による変形や組織損傷を治療する外科です。取り扱う疾患は非常に多岐にわたりますが、当科では特に下記に力を入れています。

一 診療内容一

外傷

顔面骨折や体表の組織損傷（切り傷や擦り傷などを含む）、熱傷（やけど）などの外傷はより早く、よりきれいに傷が治るように治療します。また肥厚性瘢痕やケロイドなど傷跡の治療も行っています。

難治性潰瘍・組織再建

褥瘡（床ずれ）、下肢の静脈うっ滞性皮膚潰瘍、糖尿病性壊疽、虚血性壊疽などの難治性創傷の治療を行っています。近年では高齢化に伴いこれらの難治性創傷が増加していますが、当院では人口透析、閉塞性動脈硬化症に対する血管内治療の設備なども整っており必要に応じて他科との連携を行い治療しています。腫瘍の切除手術や外傷などで大きな組織欠損を生じる場合などはマイクロサージャリーを用いた再建手術も当科で行っています。

皮膚・皮下腫瘍

色素性母斑（ほくろ）、粉瘤、脂肪腫など、皮膚皮下腫瘍の手術治療を行っています。最新の炭酸ガスレーザー機器なども導入し、機能面だけではなく、整容面にも最大限配慮して、患者さんと相談のうえ治療方針を決めています。症例に応じて日帰り手術や入院のうえ全身麻酔による手術を行っています。

眼瞼下垂症

眼瞼下垂症は、まぶたが挙げにくくなるという症状です。目が疲れる、あごを上げないものが見えにくい、またそれによって肩が凝るなどの症状がでてきます。手術治療でそれらの症状が改善できる可能性があります。加齢とともにある程度は必ず出てくる症状ですが、年のせいとあきらめる前にぜひご相談ください。

形態異常・先天異常

副耳・臍突出・多指症・合指症などの先天性異常、腋臭症などの手術治療を行っています。症例によっては専門性の高い治療が必要ですが、大阪大学形成外科や兵庫医科大学形成外科とも連携した治療を行っており、必要に応じて応援医師の招聘や、多施設へ紹介を行っています。

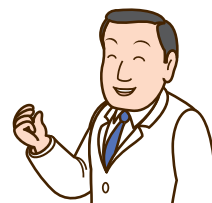
下肢静脈瘤

下肢静脈瘤は下肢の静脈が浮き出た状態のことで、足のむくみやだるさの原因となり、放置すると皮膚潰瘍を生じることもあります。女性や立ち仕事の方に多くみられ、妊娠や加齢とともに出現します。当科では従来の手術に比べて傷跡が目立たない血管内レーザー焼灼術を積極的に行っています。関西ではいち早く血管内レーザー治療を導入し、2012年1月より「下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術」の実施基準による認定施設となりました。

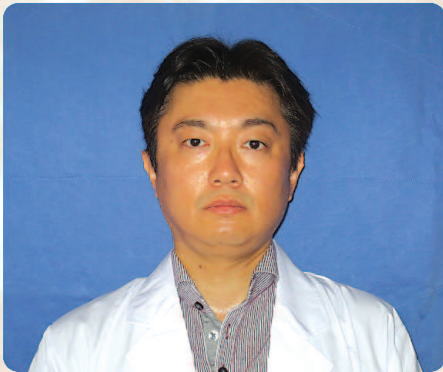
隔週木曜日に下肢静脈瘤専門外来（予約制）を行っています。

開業医の皆様へお願い

当院の外来は月曜・水曜・金曜に常勤医が診察していますので、ご紹介はできるだけ月曜・水曜・金曜の午前中をお願いいたします。



～ 医 師 の



山中 秀則 麻酔科部長

本年7月より大阪みなと中央病院へ赴任しました。私はこれまで大阪大学医学部附属病院、大阪府立母子保健総合医療センター、関西労災病院、兵庫県立尼崎総合医療センターにて勤務してまいりました。外科、整形外科、心臓外科、脳外科、小児外科などのさまざまな科、あるいは、新生児から超高齢者までのあらゆる年齢層の患者さまの手術麻酔や集中治療に従事してまいりました。

手術時の麻酔は、手術侵襲によって引き起こされる痛みや有害反応を除去するため、また、重要臓器を保護することで安全に手術を進めるために行われます。近年、麻酔分野での研究の進歩により、これまで以上に安全な麻酔薬、麻酔器具、麻酔装置等が使用できるようになりました。それにより、麻酔によって患者さまが不利益を被ることはほとんどなくなりました。しかし、手術の方法・種類や患者さまのお体の状態によっては絶対に安全とは言えない場合があります。また、著しい医療の発展に伴い、以前は手術が困難とされた超高齢の患者さまや重篤な合併症をお持ちの患者さまに対する手術の麻酔をする機会が増加しております。そのため、より安全に手術が行われるよう、手術前に患者さまの全身状態を評価させていただくため、術前診察外来を開いております。具体的には、手術の数日前に、問診、診察、術前検査（血液検査、心電図、心エコー、胸部X線写真、肺機能検査など）を通して患者さまの全身状態の評価を行い、手術に際して最適な麻酔法の決定をします。患者さまのご希望や手術担当医の要望も考慮いたしますが、手術による利益と麻酔による危険性を判断し、患者さまの安全を最優先して決定します。手術後には回診を行い、麻酔による影響を診察させていただきます。術前評価や麻酔法の決定が適確であったかを確認させていただき、今後、手術をお受けになる患者さまのお役に立てるよう、参考にさせていただきます。

また、手術室を円滑に運営することも、患者さまの安全を確保するためには重要であります。さまざまな職種の方にご協力いただき、さらに快適な手術室の運営を進めていきたいと思っております。

安全な手術の遂行をサポートすることで、地域のみなさまのお役に立てるよう、日々の麻酔業務を行っています。よろしくお願いいたします。

ご 紹 介 ～



三浦 宏之 皮膚科部長

Introduction (はじめに)

この原稿を書いている時点で、当院着任後1ヶ月ほどになりますが、覚えているだけで5、6人、蜂さされの患者さんが来られました。他のスタッフは「新しい皮膚科の先生が蜂さされの患者さんを連れてきた？」
「三浦先生は蜂さされが専門？」という噂をしているようですが、いやいや、さすがにそのようなことは全くありません。実は当院赴任前の5年間に蜂さされを見た記憶がないぐらいなのですが、おそらく、午後か

ら夕方にかけてのクリニックの診察時間の狭間の時間外で診察を受け入れたためかと推測されます。先日、試しに、うちの庭にいたアシナガバチに殺虫剤をかけてみましたが、これがなかなか退治できず、その生命力に驚きました。日本各地の港で火蟻（ヒアリ）が話題となりつつある昨今、いままであまり興味のなかった虫って怖いなと思いながら、火蟻の院内マニュアルを早速作った次第です。

Report (本題)

それでは本当の専門分野といいますと、日常の通常診療をしつつも、大学病院でしか診ないようなすこしまニアックな疾患が得意分野の半分を占めます。

ホームページ上 (<http://minato.jcho.go.jp/皮膚科/>) にありますように大きく分けると

- ①皮膚腫瘍（なかでも血管肉腫）②ダーモスコピーなどの皮膚画像診断 ③尋常性乾癬
- ④デルマトローム・膠原病類縁疾患になります。それぞれを一言ずつ紹介しますと、
①血管肉腫という皮膚科医が一生に一度出会うかどうかといった希少疾患を20年にわたり40例以上診察させていただいていますが、もちろんそのような珍しいものだけでなく数の多い、基底細胞癌や扁平上皮癌、悪性黒色腫の治療も行っています。
- ②ダーモスコピーは20年前、国立大阪病院で研修医をしていたころからの付き合いですが、医業よりも本業ではないかと言われている、野鳥などの写真撮影と同じように画像の質にこだわっています。最近は悪性腫瘍だけでなく、良性の皮膚疾患の診断にも応用を考えながら、後進の指導にもあたっています（進藤ら、ダーモスコピーが診断の一助となった発疹性黄色腫の1例、臨床皮膚科71: 225, 2017）。
- ③尋常性乾癬には従来のシクロスポリン、チガソン、紫外線に加え、近年発展が目覚ましい、生物製剤やエキシマライトを使用します。
- ④デルマトロームとは簡単に言えば、内臓病変を隠し持っている皮膚病変で、皮膚科といえども皮膚だけ見てはいけないという我が師の教えのもと、重点診療分野のひとつと位置付けてきました。皮疹の生検からそれまで内科でただの貧血として扱われていた炎症性腸疾患のクローン病の存在を見つけた症例では、マドリッドで学会発表をする機会を得ましたが、こちらの病院に来てからも、痒疹に隠れていた糖尿病を見つける機会がありました。

Conclusion (結論)

このような得意分野を生かしながら地域のニーズも取り入れていこうと思っています。病院名と所在地から、みなと病院皮膚科のキャッチフレーズを考えました。

どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。

「皆と築こう（みなと築港）皮膚の健康」 ※本当は「築港」＝「ちっこう」です

各科外来診療担当表

平成29年10月1日現在

診療科名			月	火	水	木	金
内科	午前	1診 2診 3診 4診 5診 6診 7診	國重(循環器) 佐藤 克(消化器) 沖田(糖尿病) 川田(腎・高血圧)	別府(循環器) 村田(消化器) 米田(糖尿病) 川田(腎・高血圧)	小杉(循環器) 辻(消化器) 高比(糖尿病) 伊藤(腎・高血圧)	山元(循環器) 三好(消化器) 伊藤(腎・高血圧)	加藤(循環器) 城(消化器) 本田(呼吸器) 楠(糖尿病) 綿島(腎・高血圧) 山元(初診) 伊藤(初診)
	午後		加藤(循環器、S健) 富田(循環器) 川田(腎・高血圧、S健)	國重(循環器) 辻(消化器、S健) 綿島(腎・高血圧) 赤野(呼吸器) 木村(甲状腺)	山元(循環器、S健) 城(消化器) 川田(腎・高血圧) 木村(甲状腺)	別府(循環器、S健) 禁煙外来(15時～)	小杉(循環器) 三好(消化器) 本田(呼吸器) 楠(糖尿病) 村田(消化器)
小児科	午前	1診 2診	石浦 小川・白神(輪番制)	石浦	石浦 小池	石浦 矢野	石浦 濱本
	午後		一般受診相談可 赤木(アレルギー・神経)	一般受診相談可	一般受診相談可 小川(心理) 乳児健診・予防接種	一般受診相談可	一般受診相談可
外科	午前	1診 2診	輪番制	谷口 山中	輪番制	谷口 三宅	森本
	午後		手術	乳腺・甲状腺外来	手術	宮原(脳神経外科外来)	
整形外科	午前	1診 2診 3診	中林 今村	大石 今村 小倉	篠田 有住(脊椎) 小倉	圓尾(脊椎) 中林 今村	大石 小倉
	午後						
形成外科	午前	1診 2診	藤山 高木	石瀬	藤山 石井	石瀬(一般外来)	高木
	午後	1診 2診		久保(一般外来予約のみ) (14時～16時) 終日手術		戸田(静脈腫美容外科【予約】) (12日、26日、14時～15時30分) 終日手術	
皮膚科	午前	1診 2診	三浦	三浦	藤原 三浦	三浦	三浦
	午後		手術・検査	受診相談可	受診相談可	受診相談可	予約
泌尿器科	午前	1診	安永	吉田 康	安永	手術	吉田 康
	午後		回診	手術・検査	検査	手術	検査
婦人科	午前			輪番制(検診のみ)	梶本(検診のみ)	浅田(検診のみ)	
	※ 現在、午前・午後ともに一般診療は、行っておりません。						
眼科	午前	1診 2診	檀上 堀本	石田 堀本	檀上 大浦	檀上 石田	檀上(6,20日)、石田(13,27日) 堀本
	午後	1診 2診	檀上 堀本	手術	堀本	檀上	堀本
耳鼻咽喉科	午前	1診 2診	佐川	竹林	佐川	森 竹林	岡
	午後		手術		手術		

- 診療受付時間…午前8時30分～午前11時30分 午後1時～3時
- 午後は完全予約制です。
- () 内は、各医師が診療を行う日付です。

※S健…船員手帳所持者に対する健康診断
※異動等により変更になる場合があります
各科外来にお問い合わせ下さい

※ 印刷の都合上時間のずれが発生し、担当医の変更がございますが、あしからず御了承下さい。



大阪みなと中央病院／地域医療連絡室

〒552-0021 大阪市港区築港1-8-30

TEL 06-6572-5721(代表) FAX 06-6572-6713

<http://minato.jcho.go.jp/>



日本医療機能評価機構